



Accessibility and Medical fact sheet.

ご利用可能なサポートと医療に関するファクトシート



乗下船

乗下船時のサポートについて

クルーズのターミナルに到着後、ご要望に応じアシスタントが乗船のサポートをいたします。目立つ色のジャケットを着用したアシスタントスタッフが、お客様ご自身の移動補助器具、または本船に常備している車椅子を利用して乗船の誘導をいたします。移動はお客様ご自身および同行者様で行っていただく必要がございますので、お手荷物は必要最小限におまとめいただきますようお願いいたします。

キュナードではサポートが必要なお客様向けの優先チェックインを行っておりません。ただしEチケットに記載されている時間以降のご到着であれば、可能な限り早く乗船できるように配慮いたします。

下船時のサポートは船上でパーサーズオフィスにお申し付けいただき、質問があればお気軽にお問い合わせください。

乗船前・下船後のホテル利用について

キュナードではオブショナルツアーなどと同じ扱いでツアーパッケージの一種としてクルーズ前後のホテルプログラムをご用意いたしておりますが、こちらにご参加いただくお客様でホテル滞在時に特別な配慮を必要とされる場合には、その旨をできるだけお早めにご連絡ください。利用ホテルのバリアフリー客室には数に限りがある為、混雑状況によってはご希望に添えない場合がありますことをご理解ください。

ご要望はカスタマーコンタクトセンター
連絡先 +44 (0) 3453-550-300 (英語) までご連絡ください。

送迎移動について

車椅子/電動カートが常用されている場合や、またはおひとり大型バスの乗降が難しいお客様のために、事前連絡によりキュナード提携の車両会社が適切な車両を配車できる場合がございます。移動送迎に関してのご要望はカスタマーコンタクトセンター 連絡先 +44 (0) 3453-550-300 (英語) までご連絡ください。

現地手配会社/車両会社はお客様の安全衛生上の理由によりおひとり大型バスの乗降ができないお客様のご参加をお断りする場合がございます。

航空便について

キュナードが設定するフライアンドクルーズのパッケージをお申込みの場合、持込みの車椅子/電動カートは空港のチェックインカウンターで受託手荷物としてチェックインしていただく必要があります。

空港内でのサポートを必要とされる場合には「ご利用可能なサポートと医療に関する質問票」でその旨を記入してください。空港アシスタントはチェックインカウンターよりお手伝いいたします。お持込になる移動補助器具の申請は出発の14日前までにお済ませください。

リクエストできる機内での特別食はご利用いただく航空会社によりその種類が異なります。一般的に、ベジタリアンミール、ヴィーガンミール、糖尿病食、グルテンフリーなどが選択肢にあります。チャーター便ではない定期航路便をご利用の場合には、各社ウェブサイトの詳細をご確認ください。

航空機材によっては機内に電源コンセントが備え付けられておりませんので、機内で

使用予定の医療機器は電池式(または充電式)をご用意ください。

機内に酸素の持込みを必要とするお客様は速やかに+44 (0) 3453-550-300 (英語) までご連絡いただきガイダンスの後3を選択して詳細をご申告ください。一度のフライトにおいて全搭乗客のうち1名しか酸素の持込みができない為、航空会社の許可を取得するのは非常に限られています。

ホイスト/簡易トイレの持込みを希望される場合は航空会社の定める重量規定と照らし合わせる必要があります。また、移動補助器具や医療機器の持込みによりお手荷物の超過許容重量を申請しなくてはならない可能性がありますので、いずれも上記連絡先までお電話にてお知らせください。

船内

バリアフリー客室について

すべてのバリアフリー客室は、室内、バスルームへのドア幅が広く設計されており、室内も車椅子での利用を考慮した十分な広さがございます。バルコニー付き客室はスロープによりバルコニーへアクセスできるようになっています。バスルームは客室との間に段差をなくし、トイレとシャワーには手すりが設けられているウェットルームスタイルとなります。また、プルダウン式または固定式のシャワーチェアも設置されております。例えば手すりの正確な位置など、当社ウェブサイトに掲載していない詳細を必要とする場合には、disability@carnivalukgroup.com までEメールでご遠慮なくお問い合わせください。(英語)

電動カートについて

電動カートはバリアフリー客室または特定のスイートルームを予約された場合のみお持込ができます。これらの客室には電動カートを安全に保管するための十分なスペースが設けられています。

電動カートが利用できる客室であっても、使用していない時間帯は客室内での保管が義務づけられている為、客室のドア幅をお持ちいただく電動カートが問題なく通り抜けられるかどうかご確認ください。客室のドア幅の詳細は次のリンクからご覧いただけます。

<https://www.cunard.com/en-gb/frequently-asked-questions.life-on-board.faq552.summary>

キュナードでは、「歩行に制限がある方を対象とした三輪/四輪スクーターで動力が電動式/バッテリー式のものを電動カートと定義いたします。電動モーターが付いただけの電動車椅子、その他身体障がい者用の特注機器、折り畳み式の手動車椅子はこの「電動カート」の定義には含まれません。

船内に持込みいただける電動カートはゲルバッテリー、ドライバッテリー、密閉型鉛蓄電池式、リチウムイオン電池式のタイプのものに限定されますことにご留意ください。

車椅子について

バリアフリー客室ではない一般客室をご予約いただいたお客様で折り畳み式の車椅子を持ち込まれる場合、折りたたんだ状態での車椅子の幅が51cm未満である必要があります。

手動/電動に関わらず折り畳み式ではない車椅子を持ち込む場合、車椅子を使用していない時間帯は客室内での保管が義務づけられている為、客室のドア幅をお持ちいただく車椅子が問題なく通り抜けられるかどうかをご確認ください。客室のドア幅の詳細は次のリンクからご覧いただけます。

<https://www.cunard.com/en-gb/frequently-asked-questions.life-on-board.faq552.summary>

船内に持込みいただける電動車椅子はゲルバッテリー、ドライバッテリー、密閉型鉛蓄電池式、リチウムイオン電池式のタイプのものに限定されますことにご留意ください。

船に積載している車椅子はお客様の乗船後にお申し込み順で貸し出しいたしますが、台数には限りがございます。ご希望に添えない場合に備えて、ご自身の所持されている車椅子またはレンタルの車椅子をお持ちいただく事を強く推奨いたします。

船で貸し出す車椅子は下船日前夜にご返却していただきます。返却の確認が取れなかった場合には賠償として400ポンド相当を船上アカウントにご請求させていただくこととなりますのでご注意ください。

その他の移動用の器具について

障がい者用として一般的に普及している移動用補助器具とみなされないもの(例えば、セグウェイ、トライク(三輪バギー)など)は船内で利用することはできません。

客室で使用できるホイストの貸し出しを船上では行っておりませんが、レンタル品を含めてご自身でお持ちいただくことは可能です。その際にはお持込みのホイストが船内の電源コンセントで問題なく作動するかどうかご確認ください。電源の詳細に関しては本紙の別項「電子医療機器と電源について」をご参照ください。

バリアフリー客室ではない一般客室にホイストを持ち込まれる場合は、操作に十分なスペースがない可能性がありますことを予めご注意ください。

マットレス、ベッドパッド、ベッド、椅子などの船上への持込みは国際海事機関(IMO)の耐火基準を満たすものであることが条件となり、基準に当てはまらないものはお持ちいただけません。

キュナードが選奨する「Mobility at Sea」社では船上に持込み可能なレンタル備品が数多く取り揃えられております。詳細が必要な場合 +44 (0) 800-328-1699 (英語) までお問い合わせください。

乗下船地まで/から空路を利用し上記記載の器具を航空機にお持ち込みする場合は、「アクセシビリティと医療に関する質問票」に詳細を記入の上で提出ください。あわせて定期航路便を利用する場合には、利用航空会社またはお申し込みの旅行会社に器具のお持込について直接お問い合わせを

お願いいたします。利用便がキュナードのチャーターフライトの場合、問い合わせはカスタマーコンタクトセンター +44 (0) 3453-550-300 (英語) にてお受けいたします。

生活補助器具について

シャワースツール、シャワーチェア、補高便座、バスチェア、バスボード(バスタブの上へ渡す板状の補助器具)の船内での貸し出しは先着順となり数に限りがございます。送付いただいた「ご利用可能なサポートと医療に関する質問票」の到着順で受け付けとなりますのでご了承ください。

上記貸し出し用の補助器具は利用者の体重が190.5キロまで(シャワースツールのみ127キロまで)と利用制限がございます。ご了承ください。

船上では上記以外の生活補助器具の貸し出しは行っておりません。簡易トイレ、ベッドブロック、ホイストなどの貸し出しがないものを必要とされる場合は、ご自身でお持込みいただくか、キュナードが選奨する「Mobility at Sea」社+44 (0) 800-328-1699 (英語) まで直接ご相談ください。

移動/生活補助器具の保管について

電動カート、車椅子を含め全ての補助器具は使用していないとき、客室内での保管が義務づけられており、室外に出しておくことはできません。保安上の理由により、公共エリアの通路と階段に障がい物は一切置けない規則となっております。

聴覚障がいについて

サウサンプトンの各クルーズターミナルおよび船内のパーサーズオフィスでは、磁気誘導ループが利用できます。またシアターや一部のラウンジでは赤外線聴覚サポートシステムが利用できますので専用のヘッドセットが必要な場合はパーサーズオフィスまでお申し出ください。

数に限りはございますが、無線の視覚アラーム信号装置とテレホンテキストのご用意があります。テレホンテキストは船内の回線使用状況により必ずご利用いただけるわ

けではありませんが、テレホンテキストを介して本船からの緊急案内や航海に関わる重要なお知らせを受信することができます。なお、視覚アラーム信号装置を設置すると居住スペースが少し狭くなることをご承知おきください。

客室内で視聴いただける「緊急時のご案内」に関するビデオ映像では字幕および英国式の手話を表示することができます。ただし、一般のテレビ放映は衛生信号を介して受信するために字幕を表示することはできません。

客室内でDVDの視聴を希望する場合、プレイヤーと字幕付きDVDのラインナップを空き状況に応じて貸し出しています。ご希望の際にはパーサーズオフィスまでお問合せください。

視覚障がいについて

次の船上でのご案内書面は文字を大きくして印刷することができます。

- ◆ 安全及び緊急避難訓練に関してのご案内
- ◆ メインダイニングとバーのメニュー
- ◆ デイリープログラム

「安全及び緊急避難訓練に関してのご案内」は英語の点字で用意することもできます。

船内の大部分において、キャビン番号表示とエレベーターのボタンには点字が使われており、エレベーターでは音声でのアナウンスもいたします。乗船後に船内のオリエンテーションが必要であればパーサーズオフィスまでお申し出ください。担当スタッフが船内ツアーを手配いたします。

身体障がい者補助犬について

国際アシスタンスドッグ協会 (ADI) と国際盲導犬連盟 (IGDF) の両団体は身体障がい者補助犬の国際認定を行うことができ、そのいずれかの団体に正式加盟する機関が実施する障がい者支援訓練の修了認定を受けた補助犬に限り同伴乗船が許可されます。

セラピー犬などの精神的な支援を目的とした介助犬は上記団体では身体障がい者補助犬と認定されないため同伴乗船は許可されません。

英国本国の環境食糧農村地域省 (DEFRA) の現行規制に則り特定の寄港地では補助犬の上陸が許可されない場合があります。

「ご利用可能なサポートと医療に関する質問票」にて補助犬の乗船申請をしていただきますと、追加必要書類をお送りしますので必要事項をご記入いただき返信ください。身体障がい者補助犬の同伴に関する詳細は次のリンクをご覧ください。

<https://www.cunard.com/en-gb/the-cunard-experience/accessibility/assistance-dogs>

医療廃棄物の処理について

ご要望に応じ医療用の注射針を処分するための医療用廃棄容器を客室に設置いたします。または航海中でも客室係にお申し出いただければその場で準備をいたします。

医療廃棄用の赤い袋を必要とされる場合、客室係にお申し付けください。ただし、この水溶性の紙袋は絶対にトイレに流さないようお願いいたします。医療廃棄物はすべて適切に梱包した上で客室内のバスルームにおいていただきます。

電子医療機器と電源について

電子医療機器を船内に持ち込まれる場合、延長コードも忘れずにご自身でご用意ください。医療機器 (例: CPAP, ネブライザー) を目的としたものを除き延長コードの船内への持込みはお断りいたしておりますのでご注意ください。船内の担当スタッフによりお持込いただいた電子医療機器が船内での使用に安全上支障がないかどうか出航前にお調べさせていただきます。また、雷ガード機能を有する延長コードは船の配電に干渉を及ぼす為、医療目的であってもお持込はいただけませんのでご注意ください。

キュナード本船の電源供給はすべて60Hz/110V-220Vとなります。

参考までに日本国内での電源供給は一般的に50Hz-60Hz/100Vです。

50Hz用の機器をお持ちになる場合60Hzの周波数でも使用に耐えるか、また十分な効果が発揮できるか、電圧の差に問題がないかどうかなど、使用条件を販売元または製造元にご確認ください。

CPAP/BIPAP/ネブライザー/酸素濃縮器について

CPAP/BIPAP/ネブライザー/酸素濃縮器の持込みがある場合、乗船後すぐにパーサーズオフィスまでお申し出ください。出航前に本船の電気系統管理者がそれらの機器が船上で使用して問題ないかどうか最終確認をいたします。

航空便を利用する場合でCPAP/BIPAP/ネブライザー/酸素濃縮器を機内で使用する必要がある場合、出発の14日前までにフライト手配チーム +44 (0) 843-374-1437 (英語) までお知らせください。あわせて本紙前項の「電子医療機器と電源について」をご参照ください。

酸素の持込みについて

酸素を持ち込まれる場合、全旅程で必要となる分量を必ずご自身でご準備ください。船内のメディカルセンターでは酸素の再充填や、ボンベを追加でお渡すことができます。

保安上の理由により客室内に保持していただく酸素ボンベは一度に一本のみとなります。それ以外の予備のボンベは所定の保管場所で固定した状態でお預かりいたします。保管場所はセキュリティエリア内にありお客様は自由に出入りしていただくことはできないため、必要に応じて客室係にボンベの取り出しを指示してください。

参考までに、英国国民保険サービス (NHS) およびNHS提携の酸素ボンベ会社は客船のお客様向けの酸素ボンベの提供を現在行っておりませんのでご注意ください。

LGC方式の液体酸素またはボンベ方式の気体酸素や酸素濃縮器を船上に持ち込みをご検討の場合、以下のキュナードの提携業者までお問い合わせください。

【英国発着ポヤージ】

提携企業: Omega Advanced Aeromedical社

担当者: Stephen Quantrill Mr.

Richard Quantrill Mr.

電話: +44 (0) 1273 308176

Eメール: info@omegaoxygen.com

ウェブサイト: www.omegaoxygen.com

【米国発着ボヤージ】

提携企業：Advanced Aeromedical Inc.

USA社

担当者：Skip Scribner Mr.

電話：+1 (0) 800-346-3556

(米国/カナダのみ無料通話)

+1 (0) 757-481-1590

(上記以外の国からの有料通話)

Eメール：info@aeromedic.com

ウェブサイト：www.aeromedic.com

液体酸素に限っては前頁・上記いずれかの提携業者で手配されたものだけがキュナード本船にお持ち込みいただけます。

電動送液ポンプについて

電動送液ポンプを持ち込まれる場合、全旅程で必要となる分量の薬剤/注入液を必ずご自身でご準備ください。客室に備え付けの冷蔵庫では保管しきれないと予測される分量をお持ちいただく場合には、箱のサイズと数量を事前にEメールmedical@carnivalukgroup.com(英語)でお知らせいただくことにより、追加の保管庫を手配することができます。あわせて本紙の「電子医療機器と電源について」をご参照ください。

腹膜透析について

船内の医療スタッフは腹膜透析の処置を行うことができません。その為、透析機器と透析液の持込み並びに透析処置はご自身で行っていただく必要があります。

透析機器のお持込みがある場合、乗船後すぐにパーサーズオフィスまでお申し出ください。出航前に本船の電気系統管理者がそれらの機器が船上で使用して問題ないかどうか最終確認をいたします。あわせて本紙の「電子医療機器と電源について」をご参照ください。

また、乗船時における透析機器及び透析液の岸壁への配送は、船の出航に余裕をもって間に合うようにご自身の責任において手配をお願いいたします。本船には透析液や透析機器が積載されておりませんので、万が一配送が間に合わなかった場合にはご乗船いただけません。

なおキュナードでは血液透析を必要とする

お客様のご予約を承っておりませんのでご了承ください。

透析機器

および透析液の配送について

サウスンプトンで乗船する場合：透析機器/透析液の手配会社から船舶代理店に配送の連絡をするようにご指示ください。

連絡先：(Southampton.Port.Agency@carnivalukgroup.com)

船舶代理店から手配会社に配送物の送付先住所をお伝えし受領のサポートをいたします。

空路でお越しになる場合にはカスタマーコンタクトセンターまでお電話にてご連絡くださいますようお願いいたします。

+44 (0) 3453-550-300 (英語)

透析液と透析機器の運搬に関わる各航空会社の規定とそのガイドラインを確認いたします。

サウスンプトン以外で乗船する場合：各港の船舶代理店をお調べするために次の宛先までご連絡ください。

medical@carnivalukgroup.com (英語)

ご連絡をいただかなかった場合、配送の遅延の原因となり、場合により配送自体が拒否される可能性がございますのでご注意ください。

配送物には、ご予約内容と一致する氏名、予約番号、客室番号、船名、ボヤージ番号と乗船日を明記していただく必要がございます。

妊娠中のお客様について

キュナードでは乗船期間中に妊娠24週目を迎えられるお客様はご乗船いただくことができません。妊娠中のお客様は皆様「ご利用可能なサポートと医療に関する質問票」にて事前にご申告が必要となります。それとあわせて、旅行の参加承認が明記された出産予定確認書面(英語)を主治医または助産師に発行してもらい添付していただきます。(上記の出産予定日は最終月経日から算出されるものである必要があり、加えて超音波検査の結果が加味されていることが望ましいです。)こちらの各書面はお申し込み

の旅行会社へご送付ください。

お子様の乗船について

キュナードでは安心してお子様をお預けいただける子供向け施設がございます。キッズ用アクティビティプログラムにご参加希望のお子様で何らかの障がいをお持ちの場合には、最初に利用登録をする際に保育スタッフに詳細をお申し出ください。お子様が必要とされるサポートを考慮して配慮いたします。

パーソナルケアと一人旅について

入浴、手洗い、食事、船内での移動、寄港地での下船など、日常生活におけるサポートが必要なお客様は、必ず介助を行う同行者と一緒にご予約ください。本船の乗員は日常生活に関わるお世話に関わることはできませんのでご了承ください。

お一人で船上生活を安全にお過ごしいただくことが困難であると判断された場合、乗船または旅行参加の可否についてキュナードのスタッフから伺いを立てさせていただきます。

認知症またはアルツハイマー病を患われている方や普段在宅介護を受けている場合、船上でも安全にお過ごしいただくために専属の介護者またはご家族などの同行者が必要となります。

船内での移動について

船内各所で扉の敷居が段差となっている箇所が多数ありますので足元にはご注意ください。船内のレイアウトは船特有のつくりとなっており陸上での日常生活に比べて手狭に感じられることがあると思われれます。公共エリアと多くの施設では極力足元が平坦になるように考慮されており、段差ではなく緩やかなスロープとなるように設計されております。

通常エレベーターの出入り口付近には階段がありますので、電動カートや車椅子に乗ったまま後ろ向きでエレベーターから降りる場合には、階段から落ちないように特にご注意ください。お客様ご自身と周囲のお客様の安全のために電動カートや車椅子は安全な

速度で操作するようにお願いいたします。

車椅子を常用されるお客様とその同行者のために、シアターやエンターテイメントホールには専用スペースを設けております。先着順となりますがご利用ください。

キュナード全船にはホイストを利用できるプールがあります。ホイストを利用できるプールの詳細については次のリンクからご確認ください。

<https://www.cunard.com/en-gb/frequently-asked-questions-miscellaneous.FAQ494.summary>

寄港地

足の悪い方の寄港地観光の参加について

電動カートはバリアフリー対応の車両であっても安全に固定することが難しいため大型バスへ積載することができませんのでご了承ください。

錨泊(沖止め停泊)について

一部の寄港地では本船を埠頭や波止場に接岸せずに洋上に錨をおろして停泊(以下錨泊)することがあります。錨泊時はテンダーボートをつかい沿岸上陸を行います。テンダーボートとは一度に約100名を輸送できる小型船舶を指します。本船からテンダーボートに乗船する際には階段(段差最大20cm)の乗降及び本船とテンダーボートの間の隙間(最大約45cm)を乗り越える必要があります。

保安上の規定によりテンダーボートを利用するためには、介助なしで上記の階段乗降と最大45cm幅の隙間を跨げる(または飛び越える)ことが条件となります。テンダーボートに乗船を希望されるお客様は、ボート乗船に先立ち45cmの隙間を跨いで(または飛び越えて)いただくテストを受けていただきます。この幅を跨ぐことのできない小さなお客様は保護者が抱きかかえて45cmの隙間を跨ぐか、または二名で受け渡しができることを実演していただければお子様のテンダーボート乗船は許可されます。

本船の乗員はテンダーボート乗船の誘導や

手を差し伸べることはできますが、お客様を抱えたり持ち上げる行為は危険を伴うためできません。テンダーボートに乗船する際には履きなれた平底の靴でお越しください。

車椅子や電動カートをテンダーボートに乗せる場合、その分解と組み立てはお客様の責任においてご自身でお願いいたします。個々の部品が20kg以下の場合に限り乗員も積み込み/積み下ろしをお手伝いいたします。

運動能力に困難があることが申告された場合、事前にテンダーボート乗船の講習会にご参加いただき、介助なしにお一人でテンダーボートの乗降ができることを実演していただきます。これによりテンダーボートの乗降に危険があると本船の担当スタッフが判断した場合には、お客様の安全を第一に考慮したうえでの判断とご理解いただきテンダーボートの乗船をご遠慮ください。

寄港地での下船について

乗員は十分な安全が確保されていると判断できる場合において、ギャングウェイ(乗下船用階段またはスロープ)の上から下まで手を差し伸べて誘導したり車椅子での下船をサポートいたします。

クルーズターミナル/シャトルバス乗降場所/ツアーバス乗降場所など港湾エリア内においてはご自身でご移動していただけます。また、大型バスではなくミニバスが配車される寄港地観光では、車両に電動カートや車椅子を積み込む荷室がございませんのでお持込みいただくことはできません。おひとりで大型バスの乗降ができないお客様に関して、寄港地観光の手配会社や車両運行を取り仕切るバス会社は安全衛生上の理由に基づきそのお客様の参加を解除する権利がございますので予めご了承ください。

潮位の変動が激しく本船出入口と岸壁を結ぶギャングウェイ(乗下船用階段またはスロープ)の設置を頻繁に調整する必要がある以下の港では、車椅子を利用されるすべてのお客様に対して下船をご遠慮いただく場合がございます。

ビルバオ(スペイン)、ラコルーニャ(スペイン)、プレスト(フランス)、ルアーブル(フラン

ス)、ラロシェル(フランス)、リスボン(ポルトガル)、ゼーブルージュ(ベルギー)、カナリア諸島、ハンブルグ(ドイツ)、ボストン(米国)、ポートランド(米国)、サンフランシスコ(米国)、ハリファクス(カナダ)、ケベック(カナダ)、ダーウィン(オーストラリア)、ムンバイ(インド)、他

残念ではございますが、お客様の安全を第一に考えての措置でありますことを何卒ご理解ください。潮位の変動が激しく、本船に備え付けのギャングウェイ(乗下船用階段またはスロープ)を使えない港では、各港湾にもともと備え付けられている波の上下を自動で調整するタイプで長い直線状のギャングウェイ(乗下船用階段またはスロープ)や木製で滑らないようにできている板状の橋を架ける場合があります。

潮位の関係で上記のギャングウェイや橋が大変急勾配になることがありますので予めご注意くださいますようお願いいたします。

または、潮位の状況に応じ本船に備え付けの幅の狭い段差付きのタラップを使用することがあり、こちらも波による上下の動きを自動で調節する機能があります。

追加情報

追加リクエストについて

キュナードでは客室の場所やダイニングの場所/時間のリクエストをお受けすることも、また確約をすることもいたしておりません。すべてご予約番号を取得いただいた際に、お決めいただいた内容とお申し込みの料金帯(普通料金/割引料金)をもとに割り当てが決められております。

本件にご質問、ご相談がある場合はお申込みの旅行会社またはカスタマーコンタクトセンター 連絡先+44 (0) 3453-550-330(英語)までご連絡ください。

欧州連合条約1170/2010にて規定される「海上と内陸水路を客船で旅する旅客の権利」のより詳しい詳細を確認されたい場合、キュナードの下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.cunard.com/en-gb/advice-and-policies/passenger-rights-when-travelling-by-sea>

船のご予約は既往症と既存の疾患がカバーできる旅行保険にご加入いただくことが条件となります。また、お申込みいただいた旅程について、支障なくご参加できるかどうか、主治医/専門医の意見を事前にご確認いただくことを強くお勧めいたします。

船内での緊急時について

船内が緊急事態に陥ることは滅多にあることではありませんが、万が一に備えてその対処法を知っておくことが重要となります。乗船後、すべてのお客様は出航前に実施される緊急避難訓練に参加していただきます。

実際の緊急時にも、この避難訓練で船内放送と乗員によって皆様にご案内する指示内容と同様に対処していただくこととなります。

その際には船内のエレベーターは一切使用できなくなります。階段の乗降ができないお客様に対しては乗員が避難補助器具を使いお客様の避難をサポートいたします。客室外の公共エリアでお過ごし中のお客様も乗員が緊急避難集合場所(マスターステーション)へ誘導いたします。問題なく階段を使用して移動できるお客様は階段を使用していただきます。万が一船からの避難を余儀なくされるような状況に陥った場合、サポートを必要とするお客様に対する救命艇や脱出口への誘導は乗員が行います。

「ご利用可能なサポートと医療に関する質問票」にある「緊急時のサポート」項を参照ください。